

番号	7 - 3	申請者	リウマチ科部長 森 俊輔
【審査申請課題】 気道病変合併関節リウマチの生命予後に関する後ろ向き、単施設、観察研究			
【審査課題の概要】 リウマチ（RA）関節外病変として肺は最も頻度の高い臓器である。関節外肺病変は、間質性肺病変が有名あるが、研究責任者は、RA発症早期より気道病変合併患者が多く、またリウマチ疾患活動性不良に伴い、気道病変合併頻度は高くなることを示してきた。気管支拡張症は、肺感染症の後遺症として認識されてきたが、抗菌薬の普及とともにその頻度は減少してきたが、RAでは肺感染既往がなくても合併頻度が高いことが知られている。また、我々は、気道病変合併RA患者では、肺感染症リスクが高いことを示してきた。今回、気道病変合併RA患者の発生頻度、標準化死亡率および死因について非合併患者と比較することを目的とした。			
審査結果	承認（ 令和7年4月22日 ）		